

平成26年度 プロジェクト支援型 審査のスケジュール

	第1サイクル (※2)	第2サイクル	第3サイクル (※4)
第1次申請書類提出期限	3月31日(月) 正午	7月7日(月) 正午	
第2次申請書類提出期限 (※3)	5月19日(月) 正午	8月25日(月) 正午	10月10日(金) 正午
推進委員会によるヒアリング審査(予定)	6月上旬	9月上旬	10月下旬
プロジェクト開始	7月中旬	10月中旬	12月上旬

・※1:上記の日程は予定であり変更される場合があります。

・※2:第1サイクルは、平成26年度新規採択事業プロモーターユニットは対象外となります。

・※3:第2次申請書類の提出には、事業プロモーターユニットの推薦が必要となります。

・※4:第3サイクルは、第1サイクル又は第2サイクルでのヒアリング審査の結果、「再審査」となった提案に係る第2次申請書類の再申請のみを受け付けます。ただし、平成26年度新規採択事業プロモーターユニットとの共同申請を行う場合に限り、第2サイクル第1次申請書類提出期限までに提出のあった申請書類に基づき、第3サイクルで第2次申請書類を提出することが可能です。

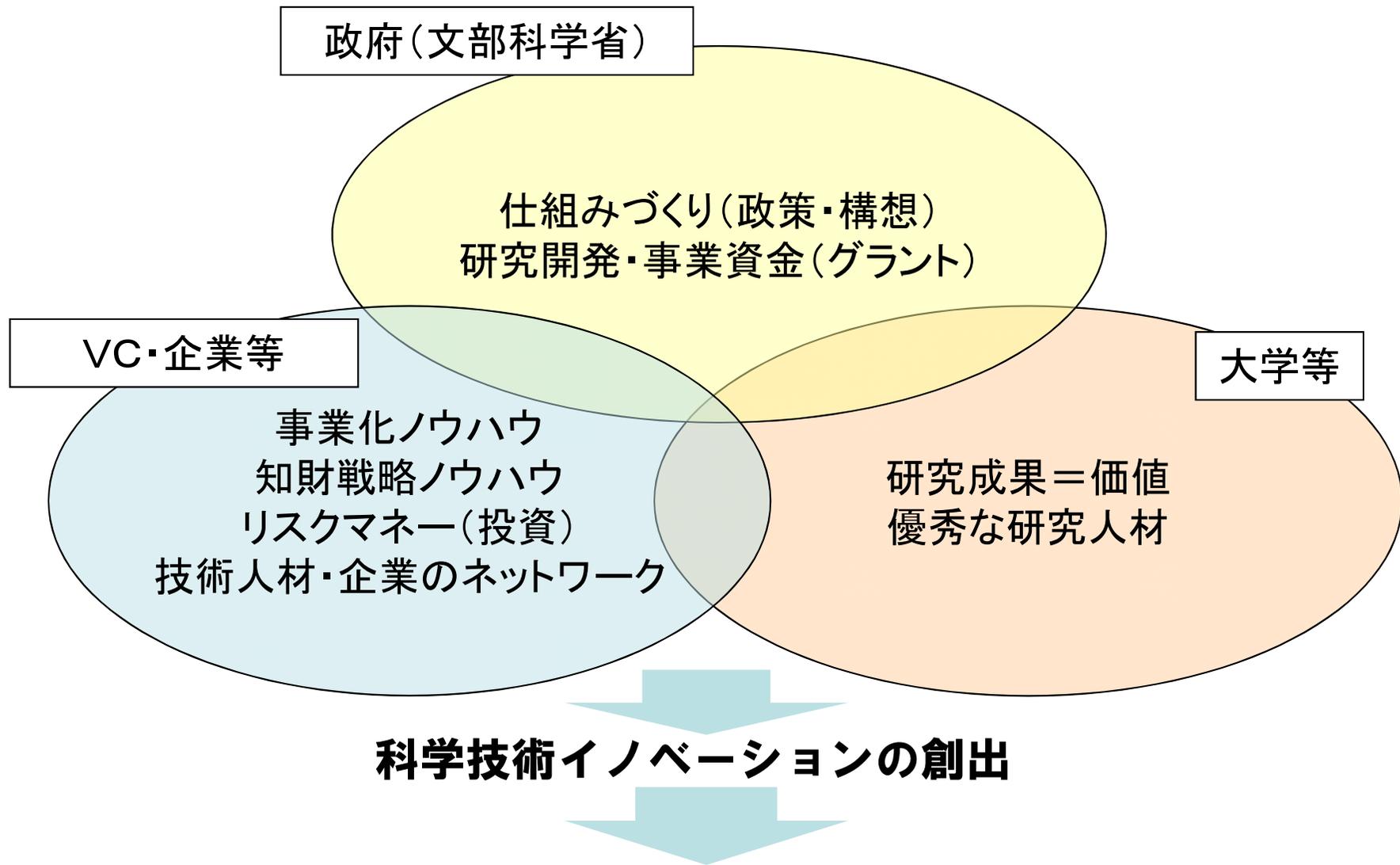
平成24年度事業プロモーター支援型 採択機関一覧 (代表実施機関五十音順)

	代表実施機関	代表事業プロモーター	対象地域	対象分野
	ウエルインベストメント株式会社	代表取締役社長 瀧口 匡	関東・甲信越を中心としながら全国的に対応可能	ライフサイエンス、環境・エネルギー、情報通信、金融工学 (上記以外にも対応可能)
	株式会社ジャフコ	投資部産学連携投資グループリーダー 伊藤 毅	全国	ライフサイエンス(医療機器、医療IT、創薬)、情報通信、新素材、エレクトロニクス、環境
	つくばテクノロジーシード株式会社	代表取締役 佐々木 美樹	全国	
	DBJキャピタル株式会社	取締役 山口 泰久	九州地域を中心としながら、全国的に対応可能	環境・エネルギー分野を中心 (アグリ、ライフサイエンス等にも対応可能)
	株式会社東京大学エッジキャピタル	代表取締役社長・マネージングパートナー 郷治 友孝	関東・甲信越を中心としながら、全国的に対応可能	生命科学、医療機器、物理、環境技術、情報通信等、様々な分野に対応可能
	東北イノベーションキャピタル株式会社	代表取締役社長 熊谷 巧	東北地域を中心としながら、関東地域にも対応可能	ナノテクノロジー・材料、医療機器、環境・エネルギー、他
	バイオ・サイト・キャピタル株式会社	代表取締役社長 谷 正之	関西地域を中心としながら、全国的に対応可能	ライフサイエンス(先端医療、創薬、DDS、医療機器)

平成25年度事業プロモーター支援型 採択機関一覧 (代表実施機関五十音順)

	代表実施機関	代表事業プロモーター	対象地域	対象分野	事業プロモーターユニットの特徴
	ウォーターベイン・パートナーズ株式会社	代表取締役パートナー 黒石 真史	中部・北陸を中心としながら、全国的に対応可能	ライフサイエンス(バイオテクノロジー・創薬・医療機器分野など)	ライフサイエンス分野における大学発ベンチャー等に創業期から当事者として深く関与した実績を活かし、「研究開発から上市までのプロセス」を念頭に、専門性を備えた実務家ネットワークを活用しながら、研究開発の推進、事業体の設立とその成長まで一貫して関わることで、プロジェクトの最適な育成を図る。
	360アイピージャパン株式会社	取締役 中野 譲	関東・甲信越、関西、九州を中心としながら全国的に対応可能	ライフサイエンス全般、環境・エネルギー、ナノテクノロジー・材料(上記以外にも全領域に対応可能)	幹細胞再生医療、新エネルギー、ナノテク等の特に日本が得意とする最先端技術をテーマとして設定し、それら先端技術商業化に高い専門性を持つプロモーター及びグローバルな支援機関でユニットを組織。独自の技術・知財の商業化手法(分析・評価・商業化提案・事業育成)を大学等の本格研究開発に反映し世界市場を見据えた技術ベンチャーを育成する。
	野村ホールディングス株式会社	野村証券金融公共公益法人部次長 濱田 隆徳	全国	全般(ライフサイエンス、環境・エネルギー、ナノテクノロジー・材料、情報通信)	グループ各社の有する機能及び全国・グローバルなネットワークを活用する。事業化テーマから有力な大学の研究・技術シーズを見出し、事業化開発計画と研究者の知的財産を融合した共同事業化モデルによって事業育成を目指す。
	株式会社ファストトラックイニシアティブ	代表取締役 木村 廣道	関東・東北・甲信越・関西・九州(上記以外にも全国に対応可能)	ライフサイエンス(創薬、機器、再生、医療IT等)、ナノテクノロジー(診断、DDS等)、材料(機能素材・バイオ素材等)	ライフサイエンスのバックグラウンドと医療産業の事業経験を有したメンバーによる専門性と経験に裏打ちされた確度の高い事業育成を特徴とする。経営、事業全般にわたる徹底的なハンズオン支援により多くのベンチャー企業を育成しIPO、M&Aに導いた経験と実績、そしてグローバルに広がる産官学のネットワークを駆使して、大学発シーズの発掘、育成を図る。

「大学発新産業創出拠点プロジェクト(START)」が目指しているもの



日本の社会構造に適した日本型イノベーションモデル（イノベーション・エコシステム）の構築を目指す

まとめ

- 本事業を通じて、大学等の革新的技術等の社会への還元を通して、新産業創出・新規マーケットを創出し、持続的な大学発の日本型イノベーションシステムを構築を目指します。
- 事業プロモーターは、大学等(研究者)との信頼関係を構築し、大学等の研究成果を社会に還元するために自らの事業化ノウハウ等を通じた貢献を期待します。
- 大学・独法等(研究者)側は、事業プロモーターと連携しつつ、大学等の使命である基礎研究成果の社会への還元を目指すことを期待します。
- 本事業を通じて、関係者が一丸となって、必要なコストを負担しつつ、モラルハザードを排し、高い志の元で、真の意味で本事業が日本再生の出発点となることを目指します。
- 本事業の理念と目標に賛同していただける方のSTART事業への積極的な参加を期待しています。

【事業内容全般に関する連絡先】

文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課
(大学発新産業創出拠点プロジェクト担当)

〒100-8959

東京都千代田区霞が関3丁目2番2号

TEL:03-6734-4023

E-mail: start@mext.go.jp

【公募及び補助金の執行に関する相談窓口】

独立行政法人科学技術振興機構 産学連携展開部 START事業担当

〒102-0076

東京都千代田区五番町7 K's五番町

TEL:03-5214-7054

E-mail: start@start-com.biz

以下、参考資料

プロジェクト支援型 申請数・採択件数

【平成25年度】

	第1次申請 提出締切	第1次申請数	第2次申請数	採択件数
第1サイクル	3/18(月)	41	4	2
第2サイクル	6/17(月)	50	15	5
第3サイクル	8/5(月)	54	21	9
合計	-	145	40	16

【平成24年度】

	第1次申請 提出締切	第1次申請数	第2次申請数	採択件数
第1サイクル	5/21(月)	68	7	5
第2サイクル	7/2(月)	44	17	7
第3サイクル	8/6(月)	56	21	15
合計	-	168	45	27

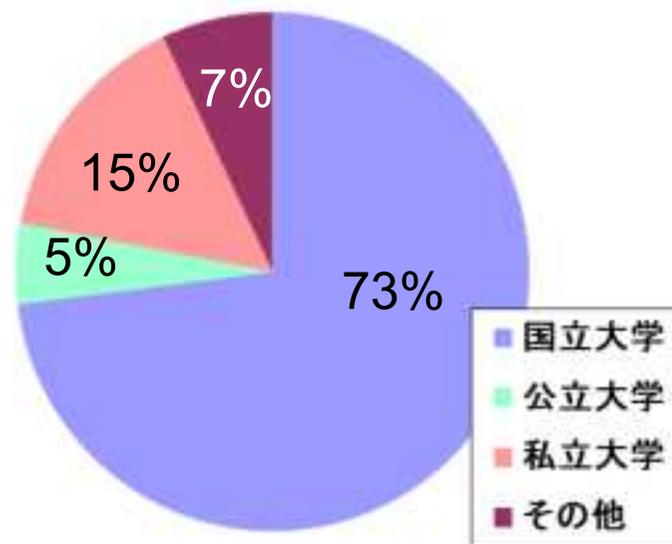
- ・「第2次申請数」には、第1～3サイクルで、再審査により再申請されているものを含む。
- ・第1次申請数は各サイクルの締切までに申請のあった数であり、第2次申請は必ずしもそのサイクル内に第1次申請があったものに限らない。このため、例えば、第2、第3サイクルに記載されている第2次申請数の中には、第1サイクルにおいて、第1次申請があったものも含まれる。

プロジェクト支援型公募実績
1次申請件数と採択件数(機関別)

H24年度の第1次申請 168件 (第1サイクル：68件、第2サイクル：44件、第3サイクル56件)

申請機関別分類

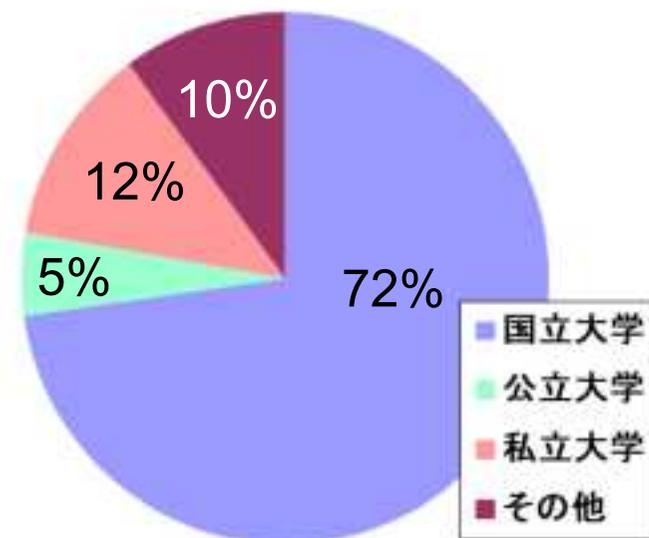
分野	件数	比率
国立大学	123	73%
公立大学	9	5%
私立大学	25	15%
その他	11	7%



H25年度の第1次申請 145件 (第1サイクル：41件、第2サイクル：50件、第3サイクル54件)

申請機関別分類

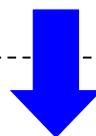
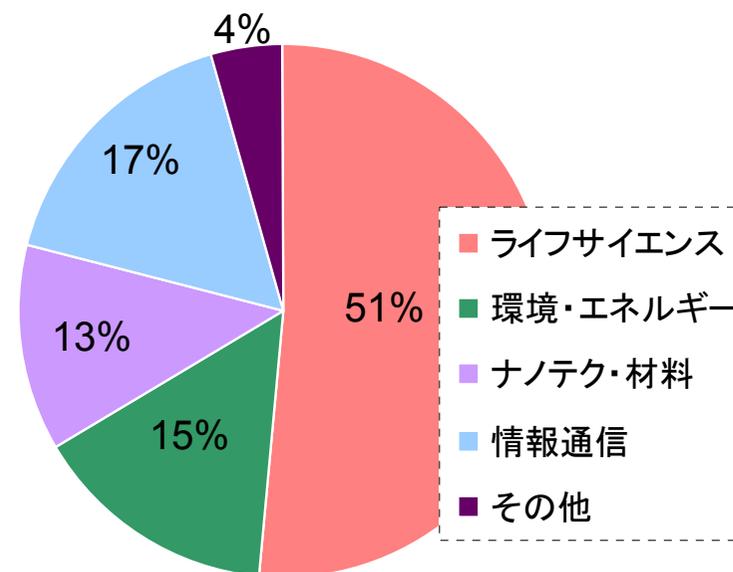
分野	件数	比率
国立大学	105	72%
公立大学	7	5%
私立大学	18	12%
その他	15	10%



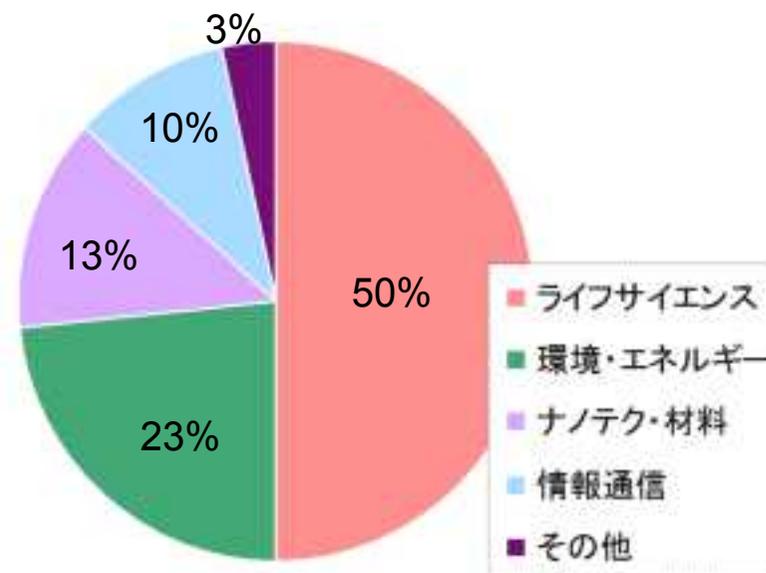
プロジェクト支援型公募実績 【平成24年度】1次申請件数と採択件数(分野別)

分野	件数*	比率
ライフサイエンス	86	51%
環境・エネルギー	25	15%
ナノテク・材料	21	13%
情報通信	28	17%
その他	7	4%

*複数分野にまたがる課題の場合は1課題を分野数で按分



分野	件数	比率
ライフサイエンス	15	50%
環境・エネルギー	7	23%
ナノテク・材料	4	13%
情報通信	3	10%
その他	1	3%



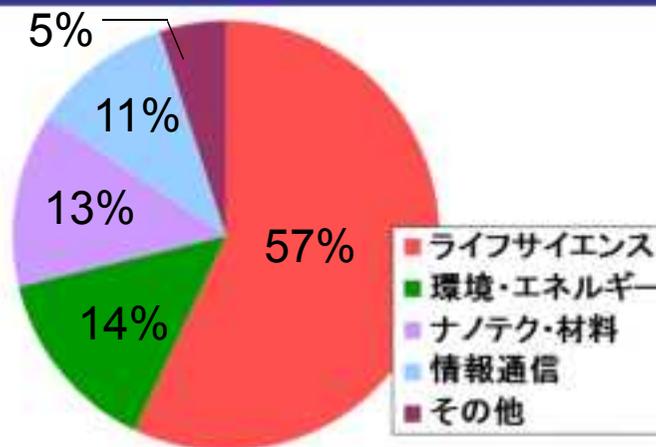
分野別では、ライフサイエンス系がほぼ半数を占め、環境エネルギー、ナノテク、ITと続く。

プロジェクト支援型公募実績 【平成25年度】申請件数と採択件数(分野別)

1次申請

分野	件数*	比率
ライフサイエンス	83	57%
環境・エネルギー	20	14%
ナノテク・材料	19	13%
情報通信	15	11%
その他	7	5%

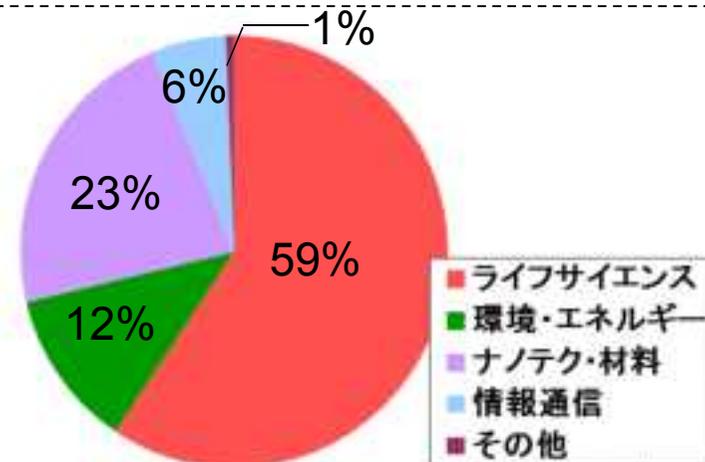
*複数分野にまたがる課題の場合は1課題を分野数で按分



2次申請

分野	件数*	比率
ライフサイエンス	24	59%
環境・エネルギー	5	12%
ナノテク・材料	9	23%
情報通信	2	6%
その他	0	1%

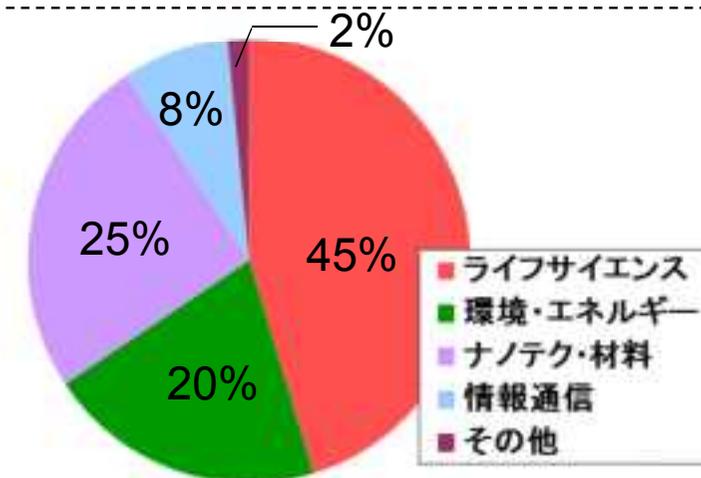
*複数分野にまたがる課題の場合は1課題を分野数で按分



採択案件

分野	件数*	比率
ライフサイエンス	7	45%
環境・エネルギー	3	20%
ナノテク・材料	4	25%
情報通信	1	8%
その他	0	2%

*複数分野にまたがる課題の場合は1課題を分野数で按分

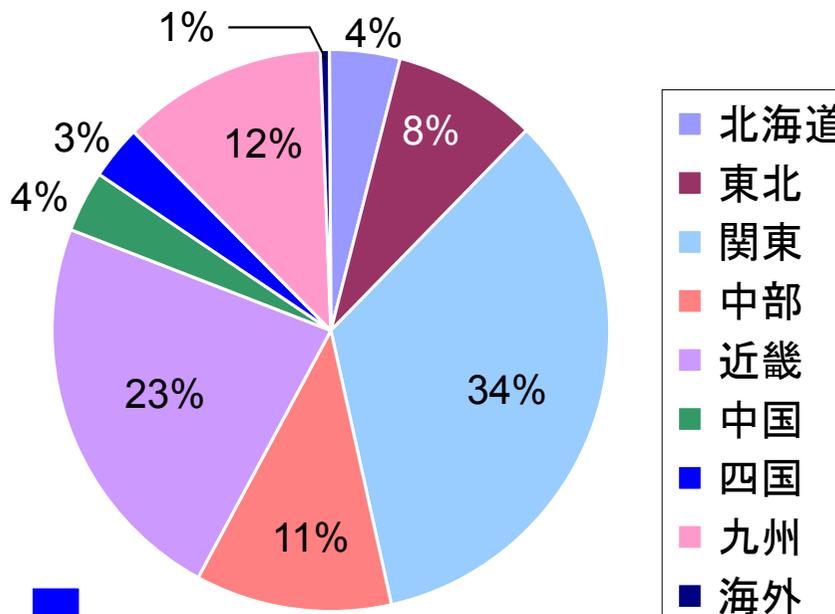


分野別では、ライフサイエンス系がほぼ半数を占め、ナノテク、環境エネルギー、ITと続く。

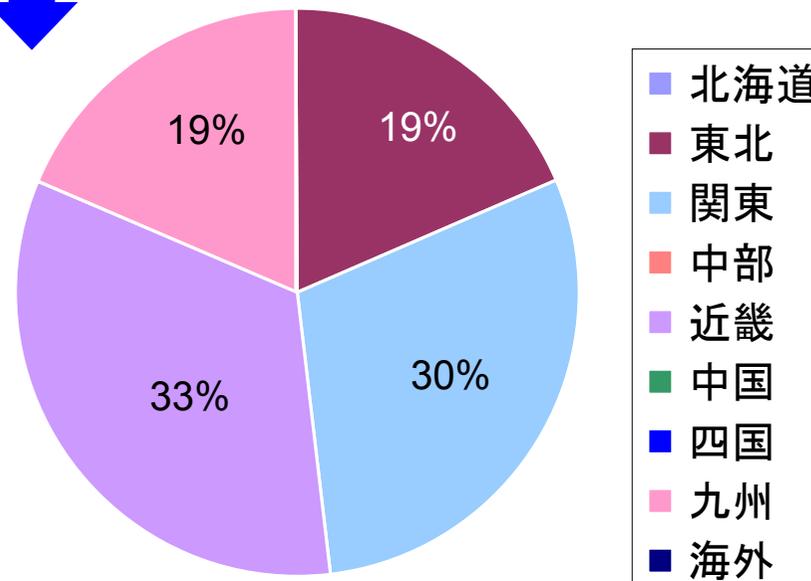
プロジェクト支援型公募実績
【平成24年度】1次申請件数と採択件数(地域別)

申請者の地域区分

地域	件数	比率
北海道	7	4%
東北	14	8%
関東	57	34%
中部	19	11%
近畿	39	23%
中国	6	4%
四国	5	3%
九州	20	12%
海外	1	1%



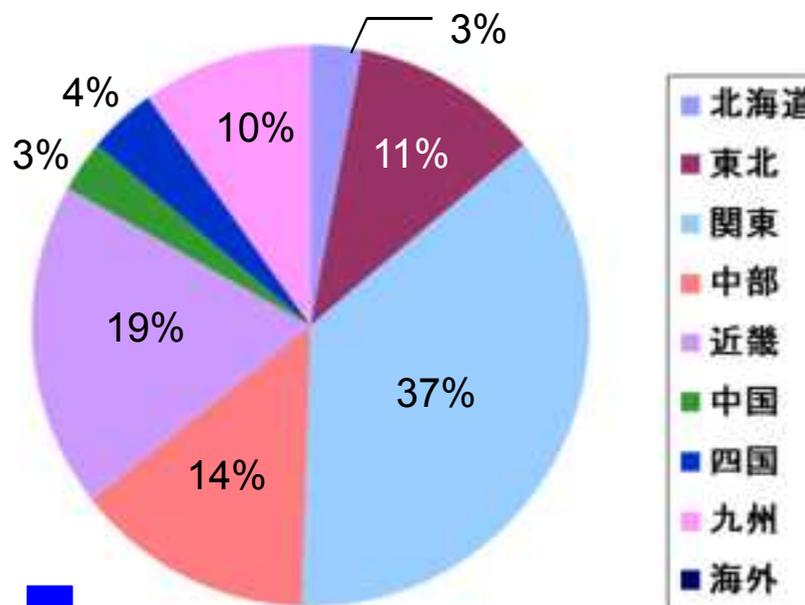
地域	件数	比率
北海道	0	0%
東北	5	19%
関東	8	30%
中部	0	0%
近畿	9	33%
中国	0	0%
四国	0	0%
九州	5	19%
海外	0	0%



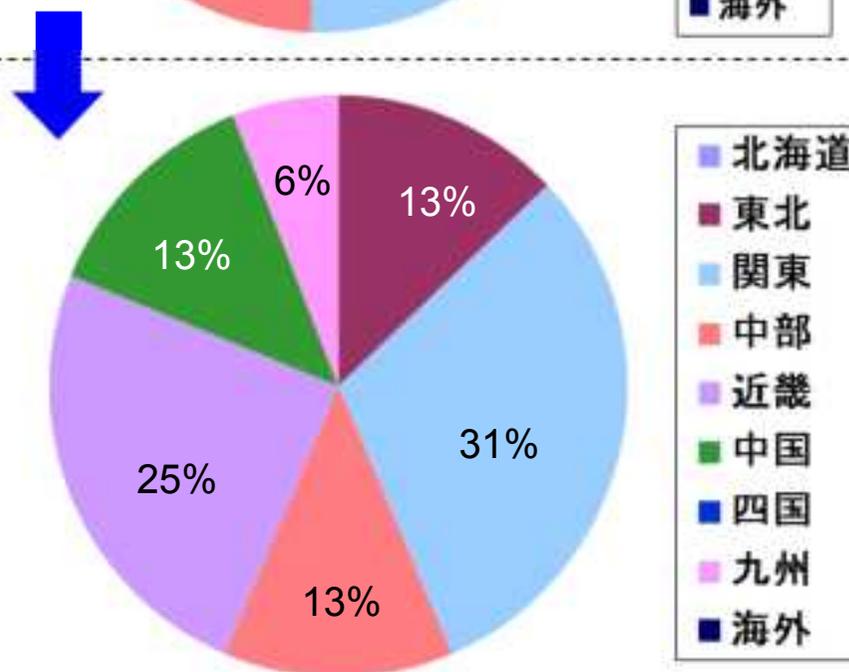
プロジェクト支援型公募実績
【平成25年度】1次申請件数と採択件数(地域別)

申請者の地域区分

地域	件数	比率
北海道	4	3%
東北	16	11%
関東	53	37%
中部	20	14%
近畿	27	19%
中国	5	3%
四国	6	4%
九州	14	10%
海外	0	0%



地域	件数	比率
北海道	0	0%
東北	2	13%
関東	5	31%
中部	2	13%
近畿	4	25%
中国	2	13%
四国	0	0%
九州	1	6%
海外	0	0%



「高性能・低価格太陽電池を実現するための Cuペーストの開発」

事業プロモーターユニット: 東北イノベーションキャピタル株式会社
研究開発機関: 東北大学

新規Cu電極

太陽電池のAg電極から代替



材料コストを**2割削減**

多機能界面層

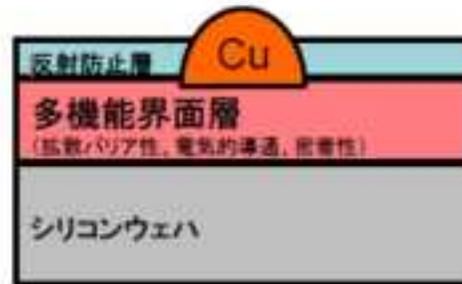
Cuペースト材料、焼成プロセスの革新により、多機能界面層を形成



Cu電極の技術課題であった拡散バリア性・配線抵抗・変換効率等について、Ag電極と同等以上の性能を実現



スクリーン印刷後のCu集電電極



多機能界面層断面模式図

「気体の超精密制御技術を基盤とした 低侵襲手術支援ロボットシステムの開発」

事業プロモーターユニット: 株式会社ジャフコ
研究開発機関: 東京工業大学/東京医科歯科大学

手術支援ロボットシステム



スレーブ側空気圧駆動 鉗子マニピュレーター



自分の手で体内処置しているような高い臨場感を実現。

- ① 空気圧駆動により鉗子先端で接触力を測定し術者に力覚を提示
- ② 力覚提示機能による高い安全性
- ③ 空気圧駆動により装置のコンパクト化を実現

支援ロボットの活用により
手術の効率化を実現



大学発新産業創出拠点プロジェクト(START) 平成24年度採択プロジェクトの例

「分子分解電子線トモグラフィーによる巨大分子の3次元可視化」

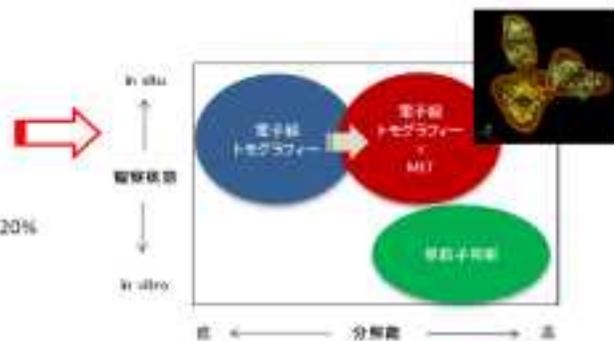
事業プロモーターユニット: バイオ・サイト・キャピタル株式会社 / 研究開発機関: 沖縄科学技術大学院大学 研究代表者: ウルフ・スコグランド教授

既存技術(X線・NMR)で適用できない空白領域(難結晶化・幅広い分子量)の蛋白質構造解析を、急速凍結したときの形状のまま1分子単位で3次元可視化する最先端電子顕微鏡技術(平均化することなく、1分子ごとの多様な姿をありのままに観察)

電子線トモグラフィーのプロセス Electron Tomography Process



電子顕微鏡の可能性



創薬研究の
パラダイムシフト



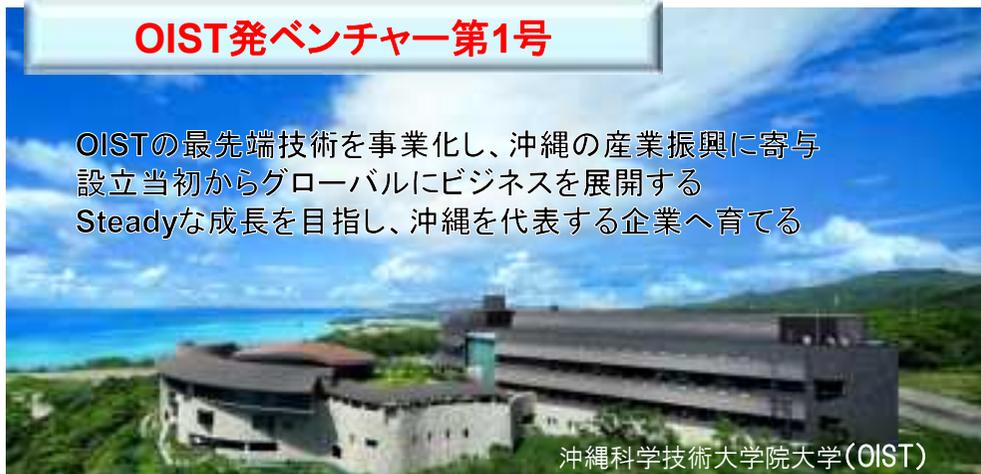
分子解析例
: 創薬研究に有用なデータを提供

- ・イオンチャネルの構成
- ・受容体の多量体化
- ・抗体結合部位
- ・動きによる抗体のメカニズム
- ・立体配座による低分子の影響
- ・抗体の立体配座
- ・凝集

多様性解析を通じて創薬研究のブラックボックスに一筋の光を与える!

OIST発ベンチャー第1号

OISTの最先端技術を事業化し、沖縄の産業振興に寄与
設立当初からグローバルにビジネスを展開する
Steadyな成長を目指し、沖縄を代表する企業へ育てる



沖縄科学技術大学院大学(OIST)

沖縄発グローバル企業を目指す



「電界共振型生体センシング、およびセンシングデータ解析システムの開発」

事業プロモーターユニット:
DBJキャピタル株式会社
研究開発機関:九州工業大学

電界共振センサ技術と雑音除去技術を融合させた生体センサを製品化



- ①行動情報
- ②呼吸情報
- ③心拍(脈波)情報



見守りセンサー
自動車関連分野 等

「微細印刷集積回路に向けた高精細、高機能な銀ナノ粒子インクの開発、製造・販売」

事業プロモーターユニット:
東北イノベーションキャピタル株式会社
研究開発機関:山形大学

銀ナノ粒子インク・印刷作製プロセス・印刷集積回路を一体的に研究開発できる体制



印刷作製プロセス

プリンテッドエレクトロニクス分野のコアテクノロジー



銀ナノ粒子インク



印刷集積回路

RFIDタグ(無線ICチップ)
フレキシブルディスプレイ

「無機過電流保護素子」

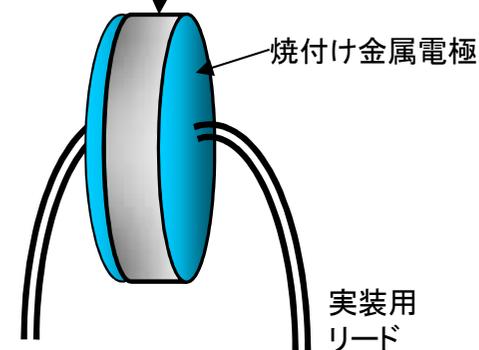
事業プロモーターユニット:
つくばテクノロジーシード株式会社
研究開発機関:名古屋大学

過電流保護素子
(iPTC :inorganic Positive Thermal Coefficient device)



iPTC

導電性無機材料



焼付け金属電極

実装用リード

繰返し使用100A級ヒューズ
用途:車載部品、Liイオン電池、
インターフェース回路等

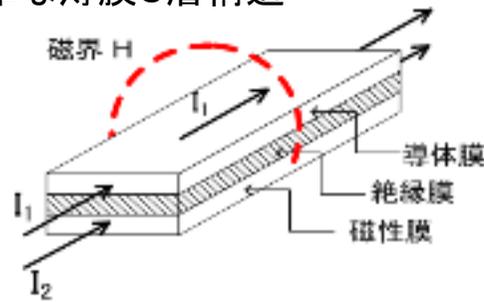
「多機能エネルギーセンサによる革新的省電力ソリューション技術の開発」

事業プロモーターユニット: つくばテクノロジーシード株式会社

研究開発機関: 公立大学法人大阪市立大学 研究代表者: 辻本 浩章

高機能、多機能、低価格を特長とする磁性薄膜エネルギーセンサの開発

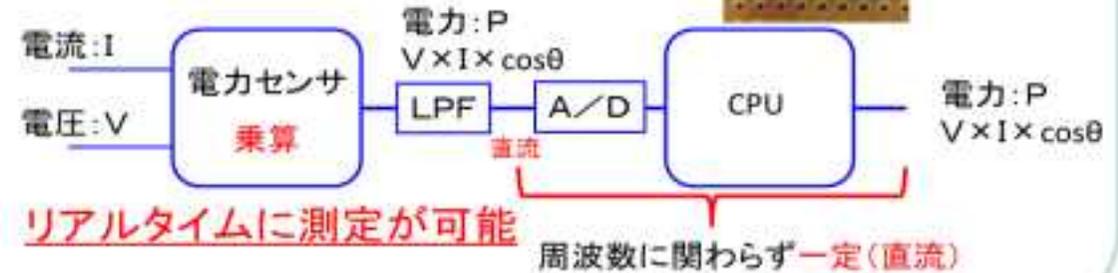
簡単な薄膜3層構造



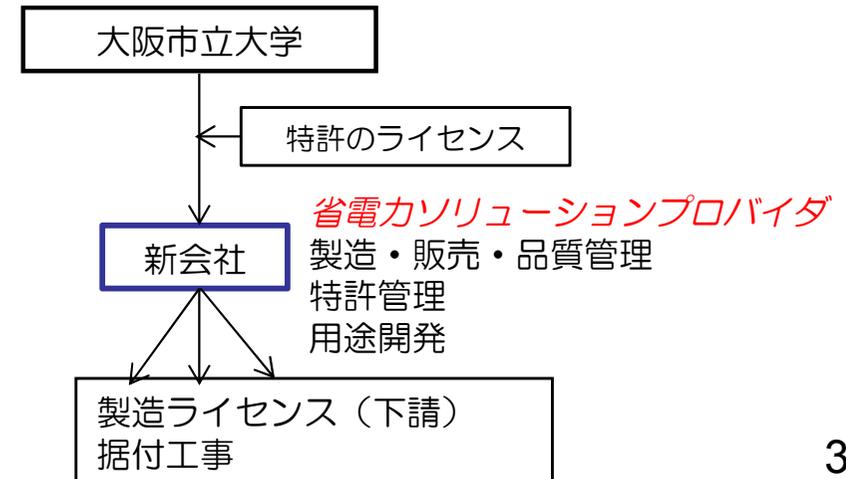
磁界の変化から
電力を測定する

薄膜電力センシングデバイスの
センサ部分

磁気抵抗効果型磁性薄膜電力センサ



事業化のイメージ



大学発新産業創出拠点プロジェクト(START) 平成25年度採択プロジェクトの例

「免疫抗原受容体バイオフィォマティクスを利用した新規治療ターゲットの同定と治療法の開発」

事業プロモーターユニット:株式会社ファストラックイニシアティブ / 研究開発機関:国立大学法人東北大学 加齢医学研究所

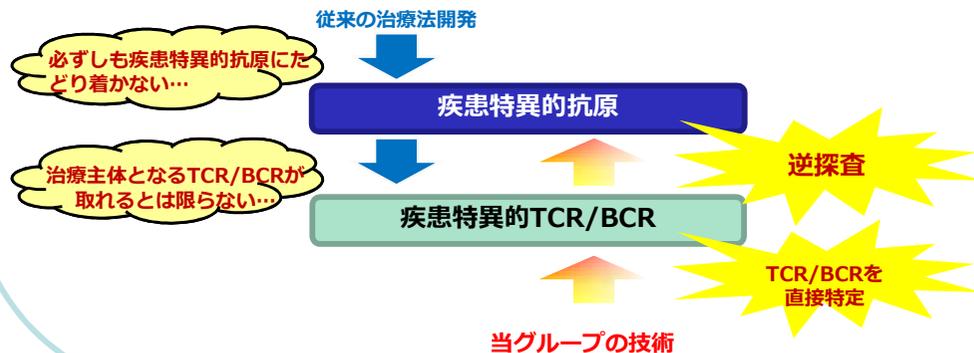
コア技術:次世代TCR/BCRレパトア解析

生体での免疫反応



本技術による治療法の開発

- 免疫反応の主体である疾患特異的TCR/BCRと、その特異抗原の特定が可能に



免疫関連市場の広がり

世界医薬品売上ランキングにおける免疫関連治療薬 (2012)

順位	商品名	適応症	売上
2	HUMIRA	リウマチ・クローン病など	85億ドル
5	ENBREL	リウマチ・若年性特異性関節炎など	75億ドル
6	REMICADE	リウマチ・クローン病など	73億ドル
9	MABTHERA	非ホジキンリンパ腫など	60億ドル

免疫関連疾患の特性

- ・ 様々な疾患へ応用可能
- ・ 対象となる患者が多い

当グループの特徴

- ・ 全く新しい解析技術を保有
- ・ サンプルソースが充実

新規の疾患ターゲット同定、治療法開発が可能

免疫レパトア技術の競合状況

機関名 /企業名	本プロジェクト	TMGT	iR	Adaptive
国/企業形態	日本/大学 (ベンチャー化予定)	仏/公的データ ベース	米国/バイオベンチャー	米国/バイオベン チャー
設立	2015-16	1989	2009	2009
増殖法	AL-PCR (Universal primer)	-	ARM-PCR (multiplex PCR)	Multiplex PCR
正確性	高精度	-	半定量	半定量
ソフトウェア	オリジナル技術	HighV-Quest	iRepertoire platform	ImmuneSEQ™
解析手法	アサイメント、比較、 抽出、データベース化	アサイメント	アサイメント (不明)	アサイメント、比較

顧客/提供製品・サービス

- ・ 創薬研究事業(主力事業)
- 顧客:大手製薬企業・バイオベンチャー
- 提供製品:創薬シーズ 提供サービス:受託・共同研究

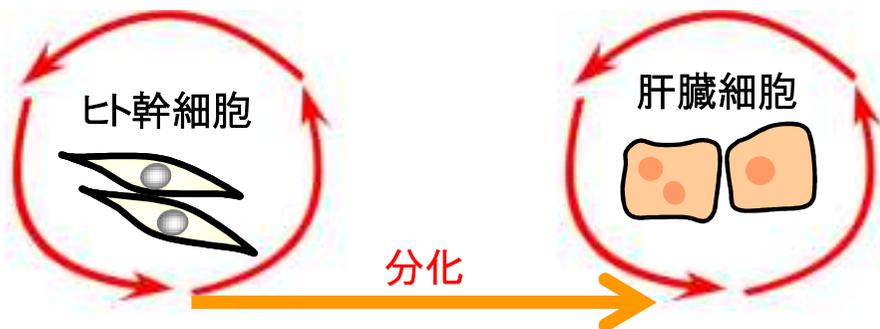
大学発新産業創出拠点プロジェクト(START) 平成25年度採択プロジェクトの例

「再生医療技術の基盤研究を応用した内在性幹細胞制御による肝疾患の革新的治療戦略」

事業プロモーターユニット:野村ホールディングス株式会社 / 研究開発機関:国立大学法人鳥取大学

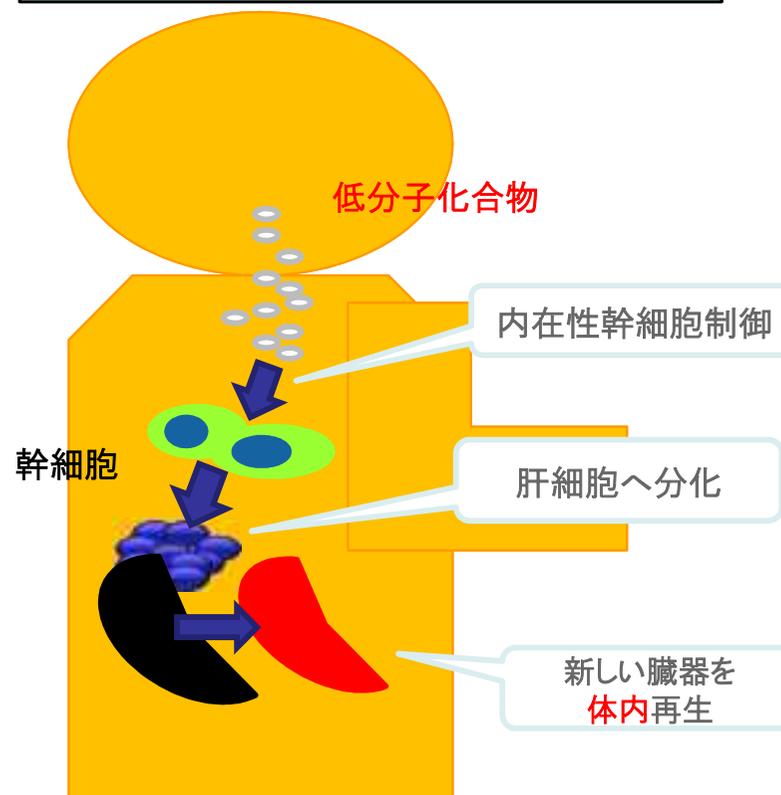
コア技術: 細胞内シグナル制御による肝臓再生誘導

低分子化合物を用いてヒト幹細胞を肝臓へ分化誘導



再生創薬

生体内で肝臓を再生する治療薬の開発



ターゲット市場

- 肝疾患治療薬の世界市場
120億米ドル(2011年) → 142億米ドル(2016年)
- ウイルス性肝疾患
- アルコール性肝疾患
- 非アルコール性脂肪性肝疾患

ビジネスモデル

新規な肝疾患治療薬を提供

- 顧客: 大手製薬企業
- 提供製品: 低分子化合物

